

写真左はペーパークラフトを掲げ発表に臨む学生たち。右下は手づくりワインを手に質問に答える学生たち



多彩なテーマ 楽しく学んだ！

1年次教養科目「基礎セミナー」の合同発表会が19日（水）に開催され、33セミナー計401人の受講学生が活動の成果を披露しました。合同発表会はコロナ禍の影響で過去3年間中止しており、4年ぶりの開催となりました。

「基礎セミナー」は、学科の異なる学生たちがともに学ぶことで交流を深め、チーム医療に求められる「連携協働する力」や「広い視野で考える力」などを身につけることを目的に、毎年開講されています。各講座のテーマは担当教員の専門分野、趣味、興味・関心を反映し、多岐にわたり、その中から学生たちが興味のあるセミナーを選びます。

3会場のうち1300L講義室では11セミナーの発表があり、身近な野草やヘルスリテラシー、ペーパークラフト制作など、多岐にわたる内

容が披露されました。「身近に存在する食べられる野草や木の実を探しながらお散歩しよう！」（担当：申敏哲教授）という講座では、身近にあるヨモギ、タンポポ、ヤマモモなどを使い、餅やコーヒー、ワインなどを作りました。受講した理学療法学専攻の久保綾香さんは「『散歩』や『野草』といったワードに興味を引かれ選んだ」そうで、野草はフードパル近くまで取りに行き、すべて学内で料理したと教えてくれました。

一方、「どう生きる？人生100年時代～ヘルスリテラシーのすゝめ～」（坂本亜里紗講師）を受講した医学検査学科の照屋穂乃香さんは「（今回の基礎セミナーを通して）身近な友だちや家族などへの啓発活動に役立ちそう」と話していました。（入試・広報課）

4年ぶり「基礎セミナー」合同発表会

前期試験に向けピア・サポ相談会

ピア・サポーターによる前期試験対策相談会が5日から13日にかけ計6回、キャンパステラスで開催されました。

各回、昼休みを利用し、学科ごとに2回ずつ実施。1年次生にとっては大学入学後初めての定期試験とあって、熱心に質問する様子が見られました。教科担当の先生やカリキュラムが異なっても、勉強への取り組み方は同じですから、参考になることが多かったのではないのでしょうか。

ピア・サポーターからは、「自分自身が当時感じていた試験前の不安や疑問に共感した」、「安心した表情が見られて嬉しかった」、「前向きな気持ちになれるよう言葉選びに気を付けた」等の報告がありました。ピア・サポーターにとっても傾聴や助言のスキルを学ぶ良い機会になったと思います。（学生相談・修学サポートセンター）



1年次生からの質問に答えるピア・サポーターたち

実習に向けマナー講座

看護学科2年次生

看護学科2年次生に向けたマナー講座が21日（金）、3110M講義室であり、約120人が身だしなみや自己紹介の基本、医療従事者として必要なマナーなどを学びました。

日本現代作法会会長で日本マナーサービス株式会社代表講師の寒川由美子氏が「医療・介護・福祉現場での実習時のマナー」と題して講義しました。9月に基礎看護学実習Ⅱを控える学生たちは、髪を整え、スーツに身を包み緊張の面持ちで受講。携行品や髪、服装などのチェックを受けた後、実習場所での自己紹介の際のお辞儀の仕方や言葉遣いなどについて指導を受けながら実践していました。

寒川氏は、「実習の場では、（患者さんに誤解を与えないよう）むやみに笑わない、発信する言葉に気をつける」などとアドバイス。一方で、「身だしなみを整え、笑顔で挨拶や敬語で話ができるようにしておきましょう」と学生たちに呼びかけました。

（入試・広報課）



隣同士で挨拶の練習をするスーツ姿の学生たち

助産別科が2日（日）、出産前の初産婦とパートナーを対象とした「もうすぐパパママ教室」を3104S講義室で開催しました。同科の「健康教育論」の一環で、2組の夫婦が参加しました。

助産別科「もうすぐパパママ教室」

参加者は、同科学生の助けを借りながら、赤ちゃんモデルを使った抱っこや着替えを体験。学生たちは、安心してお産を迎えることができるよう、お産の流れやリラックス法、出産時のパートナーの役割について説明しました。

説明の後、座談会も実施。出産を迎える人たちからは、わが子を迎える楽しみな気持ちだけでなく、初めてのお産に対する不安や緊張感など、さまざまな思いが寄せられました。今回の教室の運営を通して、学生たちは、お産に関するさまざまな情報を一方的に伝えるだけでなく、対象者の思いに寄り添い、少しでも不安を軽減できるようなサポートをすることの重要性を学びました。

（助産別科・小山萌々子）

初めての
出産
優しく
助言

銀杏アラカルト

■東稜高校1年生が来学 東稜高校の理数コース1年生41人が14日（金）、本学を訪問しました。生徒たちは、久保田入試・広報課長から大学の概要や各職種の役割について説明を受けた後、1～3号館の実習室やレストラン、図書館を見学しました。2号館の発達障害学実習室ではボールプールなどの遊具や心を落ち着かせるためのスヌーズレンの部屋、3号館の基礎看護実習室では充実したベッド環境を実際に目にし、各職種の仕事への理解を深めていました。

（入試・広報課）



1号館実習室を見学する東稜高校の生徒たち

週間行事予定（7月29日～8月4日）

8 / 4（金）19:00～

杏友会歓送迎会（場所：熊本ホテルキャッスル）